

学力向上フロンティア事業中間報告書

都道府県名

埼玉県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	寄居町立寄居中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	6	1	17	30
生徒数	165	183	216	1	565	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」の向上をめざして
～個に応じた学習指導と評価の工夫・改善～

2. 研究内容と方法

(1) 研究内容と方法

少人数指導の研究・実践

理科1年	週に3時間5学級（TT, 少人数、習熟度別・コース別指導を複合） （当該教科に関する研究実績があるため）
数学2年	週に3時間5学級（習熟度別）（生徒の理解度に差が出やすいため）
英語1年	週に3時間5学級（TT指導）（当該教科に関する研究実績があるため）
英語2年	週に3時間5学級（習熟度別）（生徒の理解度に差が出やすいため）
英語3年	週に3時間6学級（習熟度別）（生徒の理解度に差が出やすいため）

各教科とも、習熟度別指導では、「進度を変えずに深度を変える」を合い言葉に指導計画を作成し、コースも原則として生徒・保護者が選択している。学習モデルは完全習得学習をベースにして本年度、数学・理科・英語において、年3回校内授業研究会を実施した。

全教科における「個に応じた指導」の研究・実践

理科・数学・英語のみならず、全教科において、個に応じた指導のための取組を研究実践した。

具体的には、以下の5つの個人差に着目し、これらに対応するきめ細かな指導方法や指導形態の工夫・改善を図った。

学習速度（時間） 興味・関心	学習到達状況（習熟度） 生活経験	学習適性・思考スタイル
-------------------	---------------------	-------------

学力に関わる全生徒・保護者対象の実態調査の実施

自校作成の基礎学力テストとあわせて学力に関わるアンケート調査を広く実施し、学力と生徒の意識・生活・環境等との関連を調査した。その後、分析結果を基に、学力向上のための具体的方策を検討してきた。本年度は、継続的な調査に加えて、平成13年度小中学校教育課程実施状況調査やNRT（全国標準学力検査）をあわせて実施し、生徒の変容及び取組の成果を客観的データで評価した。

家庭・地域との連携

広報紙の配布や保護者会等の実施により、保護者・地域との連携を深め、学力向上のための施策への理解と協力を求めた。具体的には、

学力向上のための広報紙「フロンティア・タイムス」を毎月発行。
学校ホームページの作成。（15年6月に公開）
学力向上のための保護者会の実施。
（2,3学年は15年3月、1学年は15年4月）
全校保護者対象のアンケートの実施と分析。

「朝の一斉読書活動」の実施

14年度より、火曜日を除き、毎朝10分間の一斉読書活動を日課表に位置付け、実践をしている。目的は、読書習慣の確立と基礎学力の向上である。以下の5つのルールを設定している。

静かに読む	マンガ・雑誌は禁止	宿題や勉強も禁止
本は自分で用意する	授業中は読まない	

「みんなで読む」を合い言葉に、教師も一緒に読書を行い成果を挙げている。

宿題の充実

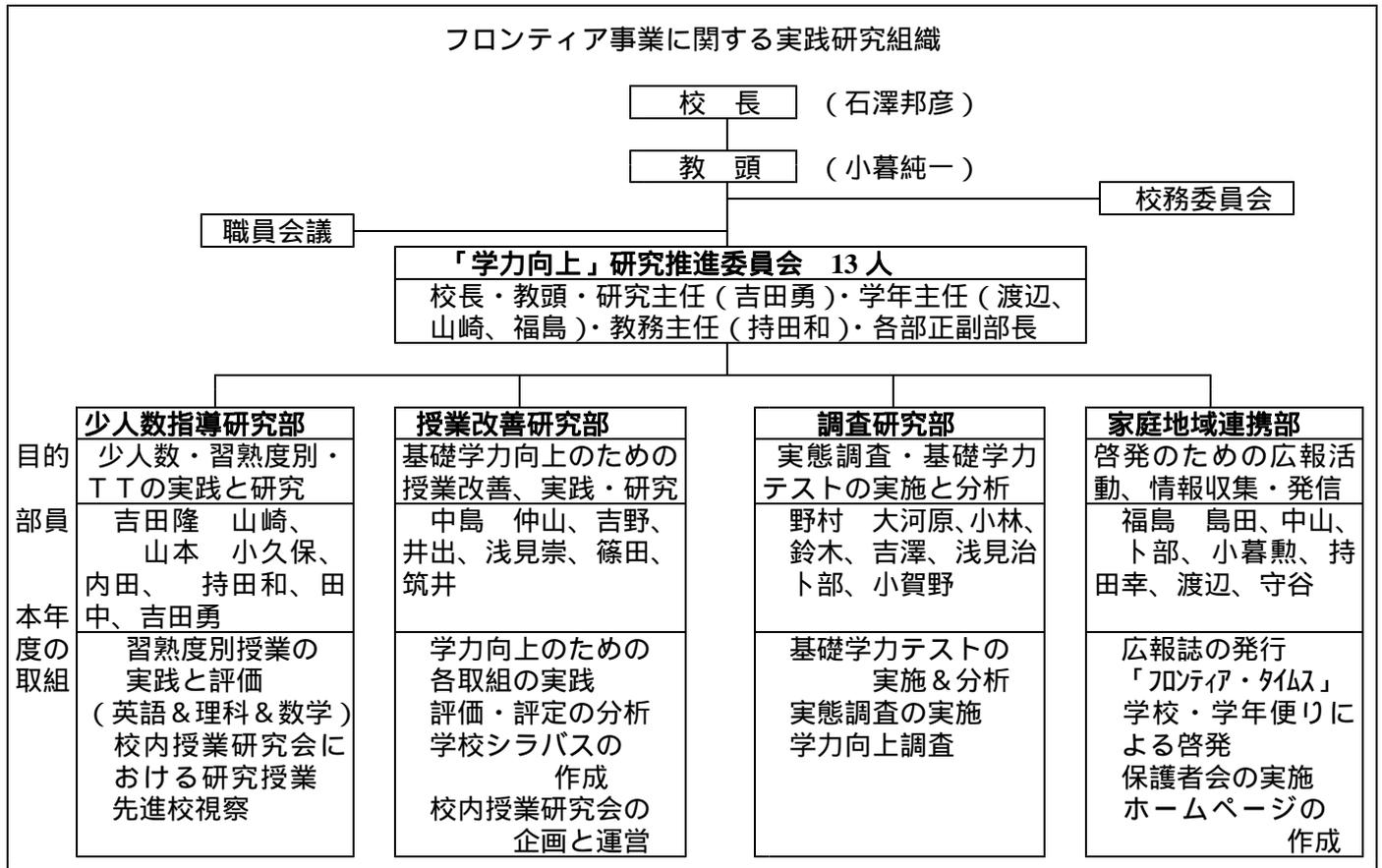
宿題の量的・質的な面から充実をめざし、家庭学習を習慣化させた。

具体的には、宿題に関する研修を行い、効果的な宿題の出し方や意欲の引き出し方などの方法を検討する。各教室に宿題コーナーを設置し、教師の量的な調整と生徒への意識付けを図った。

(2) 年次ごとの計画

時期(月)と *重点課題	各研究部の3年間の活動計画					
	少人数指導研究部	授業改善研究部	調査研究部	家庭地域連携部	備考	
平成14年 *実態把握と研究計画	4	年間計画作成				
	5	少人数指導開始	フロンティアスクールの指定			
	6					
	7	第1回 学力に関わる全校生徒対象実態調査および基礎学力テスト				
	8			集計および分析	県推進協議会	
	9	校内研究組織の改善および3年計画の検討				
	10	研究協議会(公開)	各教科の取組検討		「フロンティア・タイム」の企画	10/29 学力向上フロンティア研修会 (於:寄居中)
	11	習熟度別学習の計画	授業改善取組 開始	第2回実態調査		
	12	習熟度別学習の試行 (教材↓の作成)	シラバスの作成	集計および分析	通信1号発行	県中間報告書
	1		「朝の一斉読書活動」開始	学力一斉テスト	通信2号発行	2/28
2		教育課程の検討	集計および分析	保護者会実施	北部地区研究協議会発表	
3	評価と次年度の検討					
平成15年 *実践の評価と改善	年間活動計画の作成・検討					
	4	年間指導計画の作成	年間指導計画の作成	調査計画の作成	通信3発行	
	5	少人数・習熟度別学習の実践	シラバスの作成		1年生保護者対象説明会、通信4号	県推進協議会
	6	習熟度別学習の実践 (教材の↓作成)	授業研究会(数学)	第3回実態調査	通信5号発行	
	7			集計および分析		
	8	校内研修(1学期の評価と2・3学期の計画、準備等)				
	9		授業研究会(英語)	NRT一斉テスト	通信6号発行	
	10			実態調査の公開	通信7号発行	
	11	研究中間発表会(保護者・小中学校教員・地域への公開)				通信8号発行
	12	3学期の計画・検討	評価・検討			
1		教育課程の検討		通信9号発行		
2		授業研究会(理科)	CRT一斉テスト	通信10号発行	県推進協議会	
3	評価と次年度の検討	授業評価の実施	集計および分析	保護者会実施	小中連絡会	
平成16年 *研究の評価とまとめ	年間活動計画の作成・検討					
	4	年間指導計画の作成	年間指導計画の作成	調査計画の作成	通信11号発行	
	5	少人数・習熟度別学習の実践	シラバスの作成	NRT一斉テスト	1年対象保護者会	県推進協議会
	6	習熟度別学習の実践	授業改善取組開始	第4回実態調査	通信12号発行	
	7		授業研究会	集計および分析	通信13号発行	
	8	校内研修(1学期の評価と2・3学期の計画、準備等)				
	9		授業研究会	3年間の推移分析	通信14号発行	
	10		授業研究会	および評価	通信15号発行	
	11	研究発表会(保護者・小中学校教員・地域への公開)				通信16号発行
	12	3学期の計画・検討	評価・検討	学力一斉テスト		
1	実践	授業改善取組 開始		通信17号発行	県推進協議会	
2	3年間のまとめ				まとめ	
3	評価と次年度の検討	教育課程の検討	全データの公開	通信18号発行	小中連絡会	

(3) 研究体制 (平成14年度)



・平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・自校作成の基礎学力テストと生徒実態調査を同時に行うことにより、学力向上に効果的な学習・生活・家庭の理想像を得ることができた。
- ・実態調査の結果を基に、学力向上に向けた具体的な方策を立てることができた。また、方策に対応する組織をつくることができた。
- ・数学、理科、英語における少人数指導の実践によって、課題や問題点が明確になった。
- ・基礎学力向上のための方策の一つとして、「朝の一斉読書活動」を開始した。
- ・選択履修幅の拡大を図り、生徒の多様なニーズに対応できた。
- ・保護者会の実施や広報紙「フロンティア・タイムス」を発行し、家庭への啓発を行った。
- ・学校ホームページを公開することができた。
- ・「個に応じた指導」のための研修を実施し、具体的な取組を始めることができた。

2. 今後の課題

- ・効果的な少人数指導の実践と有効な評価方法の検討を行う。
- ・全教科で「個に応じる指導」のための取組(授業力の向上)を積極的に進める。
- ・家庭学習の質的・量的な向上(効果的な宿題等のあり方)を図る。
- ・さらに、学習意欲を高めるための方策を探る。
- ・「学力向上」の数値的な評価法を検討する。
- ・「学力向上」のための研究成果の発信を積極的に行う。

・学力把握のための学校としての取組(平成15年度)

- ・5月 第3回学校作成基礎学力テスト&生活実態調査(学力と生活との相関を調査)
- ・7月 平成13年度教育課程実施状況調査問題を活用した学力及び意識調査(全国との比較)
- ・9月 NRT一斉学力テスト(全国との比較)
- ・1月 平成15年度教育課程実施状況調査(抽出校)
- ・2月 CRT一斉学力テスト(全国との比較、観点別通過率の把握)

・フロンティアスクールとしての研究成果の普及について

- ・平成15年11月12日(水)
「学力向上フロンティアスクール研究発表会(2年次)」開催
内容 授業公開(英・数・理の少人数指導)及び研究発表全体会
対象 北部地区全小中学校、参会者120名
資料 研究紀要及びスライド説明
- ・平成15年6月20日(水) 第1回校内授業研究会(英語、町内小中学校教員にも公開)
9月26日(金) 第2回校内授業研究会(数学、町内小中学校教員にも公開)
平成16年2月3日(火) 第3回校内授業研究会(理科、町内小中学校教員にも公開)
- ・平成15年3月2日(火)北部地区学力向上推進協議会研究協議会
・本庄市民文化会館にて開催予定。これまでの実践をポスター発表
- ・平成15年6月 学校ホームページの開設 URL: [http:// www.aq.wakwak.com/~yorii-jhs/](http://www.aq.wakwak.com/~yorii-jhs/)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無